

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券
設定日	2014年4月4日
信託期間	2014年4月4日～2024年4月8日（約10年）
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	短期N Zドル債オープン（資産成長型） ・短期N Zドル債マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 短期N Zドル債マザーファンド ・ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	短期N Zドル債オープン（資産成長型） ・株式への実質投資は行いません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 短期N Zドル債マザーファンド ・株式への投資は行いません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年3月、9月の7日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

# 運用報告書（全体版）

第7期

決算日 2017年9月7日

## 短期N Zドル債オープン （資産成長型）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「短期N Zドル債オープン（資産成長型）」は、去る2017年9月7日に第7期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ホームページアドレス

<http://www.daiwasbi.co.jp/>

お問い合わせ先

受付窓口：（電話番号）0120-286104

受付時間：午前9時から午後5時まで（土、日、祝日除く。）

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。



資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん

大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

# 短期NZドル債オープン（資産成長型）

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算)		公社債組入比率	債券先物組入比率	純資産額
	(分配落)	税金	込金	騰落	中率			
第3期 (2015年9月7日)	円 8,950	円 0	円 0	騰落 △13.8	中率 %	% 95.1	% -	百万円 263
第4期 (2016年3月7日)	9,342	0	0	4.4	5.1	95.5	-	274
第5期 (2016年9月7日)	9,206	0	0	△1.5	△1.0	97.2	-	384
第6期 (2017年3月7日)	9,746	0	0	5.9	6.6	94.7	-	404
第7期 (2017年9月7日)	9,735	0	0	△0.1	0.4	90.5	-	47

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) とは、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (ニュージーランドドルベース) を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

\*先物組入比率は、買建比率-売建比率

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算)		公社債組入比率	債券先物組入比率
	騰落率	騰落率				
(期首) 2017年3月7日	円 9,746	% -	(参考指数) 9,971	% -	% 94.7	% -
3月末	9,614	△1.4	9,834	△1.4	97.0	-
4月末	9,396	△3.6	9,620	△3.5	93.9	-
5月末	9,704	△0.4	9,941	△0.3	93.1	-
6月末	10,099	3.6	10,355	3.8	97.6	-
7月末	10,236	5.0	10,505	5.4	94.0	-
8月末	9,818	0.7	10,096	1.3	91.8	-
(期末) 2017年9月7日	9,735	△0.1	10,010	0.4	90.5	-

\*騰落率は期首比です。

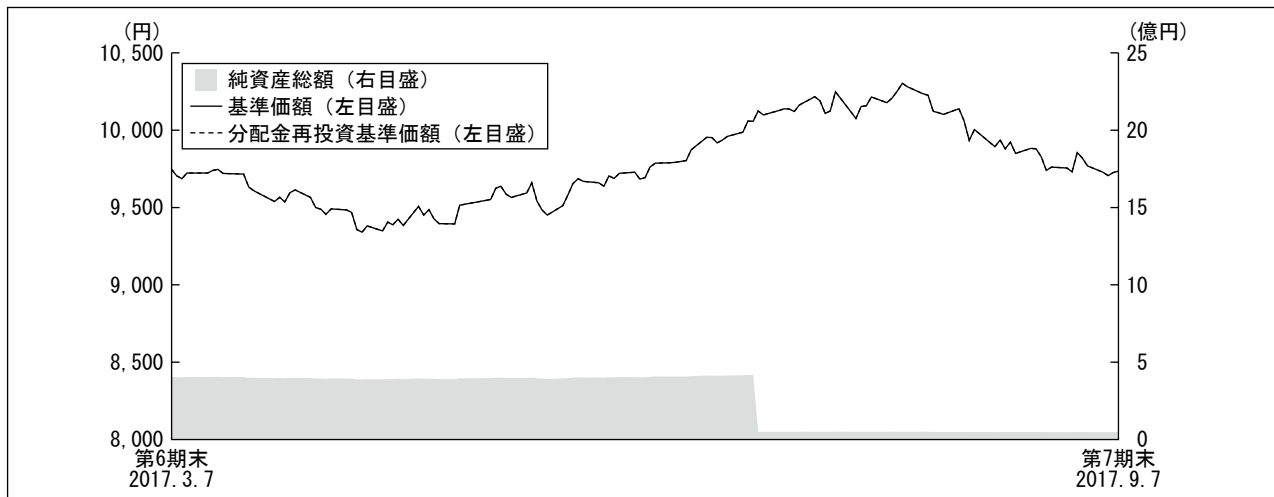
\*先物組入比率は、買建比率-売建比率

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

# 短期NZドル債オープン（資産成長型）

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\*当ファンドにはベンチマークはありません。

\*分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を基準に算出しております。

\*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

\*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

第7期首：9,746円

第7期末：9,735円（既払分配金 0円）

騰落率：△0.1%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、短期NZドル債マザーファンドへの投資を通じて、ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品へ投資を行いました。

（上昇要因）

米国トランプ政権の政策期待が後退したことや北朝鮮情勢の緊迫化を背景に世界的に金利低下基調となり、ニュージーランド債券利回りが低下（価格は上昇）したことが上昇要因となりました。また、RBNZ（ニュージーランド準備銀行）が相当な期間、政策金利を据え置くとの姿勢を維持したことも、ニュージーランド債券利回りの低下要因となりました。

（下落要因）

ニュージーランドドル円相場が期首の79.67円から期末に78.73円へ下落したことが下落要因となりました。ニュージーランドドルは良好な中国経済を背景とした資源コモディティ通貨の上昇に伴い、対米ドルでは上昇基調となりました。しかし、米国トランプ政権の保護主義的な通商政策や北朝鮮情勢の緊迫化に伴い、ドル円相場が下落した影響を受けて、ニュージーランドドル円相場は下落となりました。

## 短期NZドル債オープン（資産成長型）

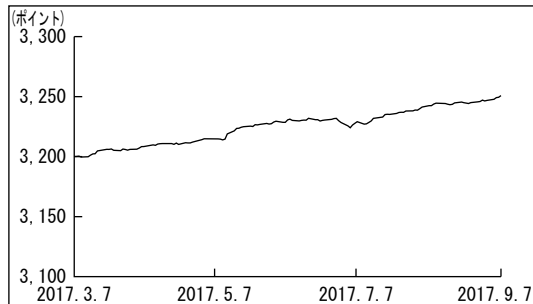
### 【投資環境】

当期のニュージーランド債券市場は、世界的な金利低下基調やRBNZの政策据え置き姿勢を背景に、ニュージーランド債券利回りは低下（価格は上昇）基調となりました。

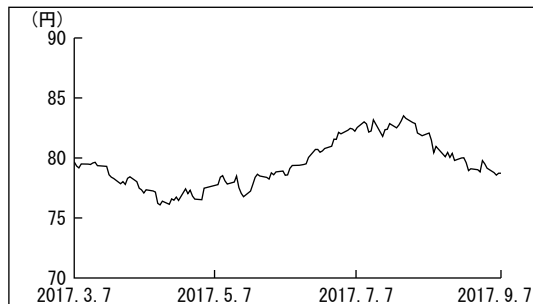
期初はオバマケア代替法案を巡りトランプ政権の政策実行能力に不透明感が高まり米国株が急落したことや、米軍によるシリア攻撃をきっかけとした北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりを背景に、世界的に金利低下基調となり、ニュージーランド債券利回りは低下（価格は上昇）となりました。その後、6月末にECB（欧州中央銀行）総裁が政策転換を示唆したことをきっかけに、欧州主導で世界的に金利が上昇に転じたものの、ニュージーランドの4-6月期CPI（消費者物価指数）が市場予想を下回ったことや、8月に再び北朝鮮情勢が緊迫化し投資家のリスク回避姿勢が強まったことを背景に、ニュージーランド債券利回りは低下基調となりました。

為替市場では、ニュージーランドドル円相場は小幅下落となりました。資源コモディティ通貨の上昇を受けて対米ドルではニュージーランドドルは堅調に推移しましたが、米国トランプ政権の期待後退や北朝鮮情勢の緊迫化によりリスク回避の円高圧力が加かったことに加え、RBNZが相当な期間、政策を据え置くとの姿勢を維持したため、ニュージーランドドル円相場は下落となりました。

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Yearの推移



為替レート（ニュージーランドドル/円）の推移



## 短期NZドル債オープン（資産成長型）

### 【ポートフォリオ】

#### ■短期NZドル債オープン（資産成長型）

主要投資対象である短期NZドル債マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は90.5%としました。

#### ■短期NZドル債マザーファンド

当期の騰落率は、+0.6%となりました。

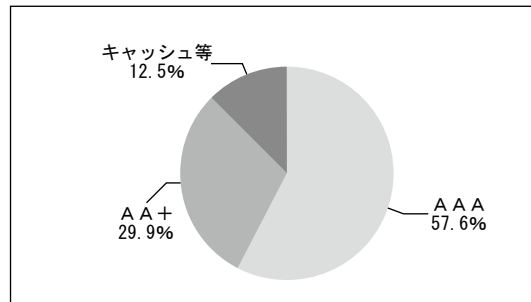
当期は、世界的な金利低下基調やRBNZの政策据え置き姿勢が続いたことから、長めのデュレーション\*を基本に運用しました。

期初は参考指数に対して中立的なデュレーションを維持する方針で臨みましたが、4月に北朝鮮情勢が緊迫化し市場のリスク回避姿勢が強まり、またフランス大統領選挙に対する警戒が高まったことから、デュレーションを1.8年程度へ引き上げました。6月末にECB総裁が政策転換を示唆し欧州主導で金利上昇となった局面では、ニュージーランドの4-6月期CPIが予想を下回ったため、長めのデュレーションを維持しました。8月に入り再び北朝鮮情勢が緊迫化したことから、デュレーションを2.0年程度へ一段と引き上げましたが、欧米市場ほど金利低下に反応しなかったため、期末に掛けては1.8年程度にデュレーションを引き下げました。

\*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

格付別資産構成

(2017年9月7日現在)

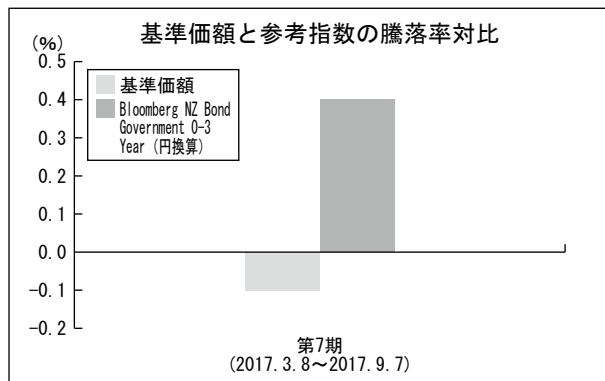


\*純資産総額に対する評価額の割合

## 短期NZドル債オープン（資産成長型）

### 【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



### 【分配金】

収益分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### ■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第7期	
	2017年3月8日 ~2017年9月7日	
当期分配金 (円)	0	
(対基準価額比率) (%)	0.00	
当期の収益 (円)	-	
当期の収益以外 (円)	-	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,211	

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 短期NZドル債オープン（資産成長型）

## 今後の運用方針

### ■短期NZドル債オープン（資産成長型）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じてニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資を行うことにより、安定的な利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ■短期NZドル債マザーファンド

今後のニュージーランド債券市場は、9月23日の総選挙やRBNZの次期総裁人事が金融政策を予測する上で重要なイベントになると考えています。足元では北朝鮮情勢の緊迫化が焦点となっていますが、米国トランプ政権の政策動向やFRB（米連邦準備制度理事会）、ECBの政策スタンスに、再び市場の注目が集まると予想しています。

運用方針については、地政学リスクの影響やRBNZの政策スタンスを見極めつつ機動的にデュレーションを決定していく方針です。資産配分については、国債、地方債、国際機関債、政府機関債で構成されたポートフォリオを維持する方針です。

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2017年3月8日～2017年9月7日		
	金額	比率	
信託報酬	71円	0.719%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は9,811円です。
（投信会社）	(34)	(0.350)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(34)	(0.350)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.019)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	8	0.079	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(7)	(0.072)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	78	0.799	

\*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\*各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## 短期NZドル債オープン（資産成長型）

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

（2017年3月8日から2017年9月7日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
短期NZドル債マザーファンド	千口 2,954	千円 3,035	千口 356,353	千円 374,054

### 利害関係人との取引状況等

（2017年3月8日から2017年9月7日まで）

#### <短期NZドル債オープン（資産成長型）>

##### ■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

#### <短期NZドル債マザーファンド>

##### ■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

### 組入資産の明細

2017年9月7日現在

#### ■親投資信託残高

	期首（前期末）	当 期	末
	口 数	口 数	評 価 額
短期NZドル債マザーファンド	千口 401,783	千口 48,384	千円 49,328

\* 短期NZドル債マザーファンド全体の受益権口数は、407,936千口です。

### 投資信託財産の構成

2017年9月7日現在

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
短期NZドル債マザーファンド	千円 49,328	% 100.0
投資信託財産総額	49,328	100.0

\* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 ニュージーランド・ドル=78.73円

\* 短期NZドル債マザーファンド

当期末における外貨建資産（369,871千円）の投資信託財産総額（415,939千円）に対する比率 88.9%



## 短期N Zドル債オープン（資産成長型）

### 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2017年9月7日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	49,328,425円
短期N Zドル債マザーファンド(評価額)	49,328,425
(B) 負 債	1,653,854
未 払 信 託 報 酬	1,639,437
そ の 他 未 払 費 用	14,417
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	47,674,571
元 本	48,972,965
次 期 繰 越 損 益 金	△ 1,298,394
(D) 受 益 権 総 口 数	48,972,965口
1 万 口 当 り 基 準 価 額 (C / D)	9,735円

\* 元本状況

期首元本額	415,431,270円
期中追加設定元本額	3,088,170円
期中一部解約元本額	369,546,475円

\* 元本の欠損

1,298,394円

### 損益の状況

自2017年3月8日  
至2017年9月7日

項 目	当 期
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,563,084円
売 買 益	12,969,444
売 買 損	△11,406,360
(B) 信 託 報 酬 等	△ 1,653,854
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△ 90,770
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	96,101
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,303,725
(配 当 等 相 当 額)	( 1,562,091)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,865,816)
(F) 計 (C + D + E)	△ 1,298,394
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	△ 1,298,394
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 1,303,725
(配 当 等 相 当 額)	( 1,575,586)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 2,879,311)
分 配 準 備 積 立 金	4,357,529
繰 越 損 益 金	△ 4,352,198

\* 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\* 信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

\* 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

< 分配金の計算過程 >

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

(A) 配 当 等 取 益 (費用控除後)	0円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0
(C) 收 益 調 整 金	1,575,586
(D) 分 配 準 備 積 立 金	4,357,529
分 配 可 能 額 (A + B + C + D)	5,933,115
(1 万 口 当 り 分 配 可 能 額)	( 1,211.51)
收 益 分 配 金	0
(1 万 口 当 り 收 益 分 配 金)	( 0)

## お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

# 短期NZドル債マザーファンド

## 運用報告書

決算日：2017年9月7日

(第7期：2017年3月8日～2017年9月7日)

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	主にニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品に投資することにより、利息収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指します。
主要運用対象	ニュージーランド・ドル建ての高格付けの公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 株式への投資は行いません。</li><li>・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li></ul>

資産運用のベストパートナー、だいwasumigân



## 大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

東京都千代田区霞が関三丁目2番1号

<http://www.daiwasbi.co.jp/>

# 短期NZドル債マザーファンド

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額		Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) (参考指数)		公社債組入比率	債券先物組入比率	純資産額
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率			
第3期 (2015年9月7日)	9,141	△13.1	8,985	△13.4	94.4	—	百万円 718
第4期 (2016年3月7日)	9,601	5.0	9,439	5.1	94.9	—	785
第5期 (2016年9月7日)	9,519	△0.9	9,349	△1.0	96.4	—	790
第6期 (2017年3月7日)	10,138	6.5	9,971	6.6	94.1	—	756
第7期 (2017年9月7日)	10,195	0.6	10,010	0.4	87.5	—	415

Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) とは、Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (ニュージーランドドルベース) を委託者が円換算し、設定日を10,000として指数化したものです。

\*先物組入比率は、買建比率-売建比率

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Year (円換算) (参考指数)		公社債組入比率	債券先物組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2017年3月7日	10,138	—	9,971	—	94.1	—
3月末	10,009	△1.3	9,834	△1.4	96.9	—
4月末	9,791	△3.4	9,620	△3.5	93.8	—
5月末	10,123	△0.1	9,941	△0.3	92.9	—
6月末	10,541	4.0	10,355	3.8	94.7	—
7月末	10,689	5.4	10,505	5.4	91.0	—
8月末	10,277	1.4	10,096	1.3	88.8	—
(期末) 2017年9月7日	10,195	0.6	10,010	0.4	87.5	—

\*騰落率は期首比です。

\*先物組入比率は、買建比率-売建比率

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】

期首：10,138円  
 期末：10,195円  
 騰落率：+0.6%

### 【基準価額の主な変動要因】

(上昇要因)

米国トランプ政権の政策期待が後退したことや北朝鮮情勢の緊迫化を背景に世界的に金利低下基調となり、ニュージーランド債券利回りが低下（価格は上昇）したことが上昇要因となりました。また、RBNZ（ニュージーランド準備銀行）が相当な期間、政策金利を据え置くとの姿勢を維持したことも、ニュージーランド債券利回りの低下要因となりました。

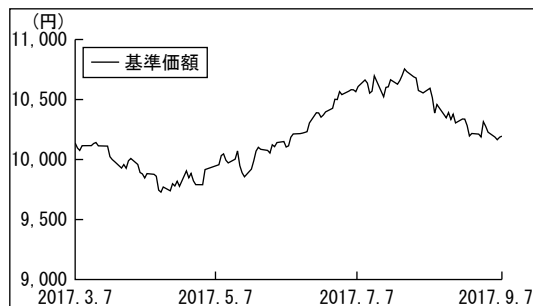
(下落要因)

ニュージーランドドル円相場が期首の79.67円から期末に78.73円へ下落したことが下落要因となりました。ニュージーランドドルは良好な中国経済を背景とした資源コモディティ通貨の上昇に伴い、対米ドルでは上昇基調となりました。しかし、米国トランプ政権の保護主義的な通商政策や北朝鮮情勢の緊迫化に伴い、ドル円相場が下落した影響を受けて、ニュージーランドドル円相場は下落となりました。

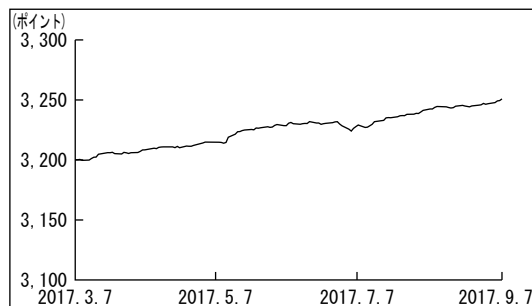
### 【投資環境】

当期のニュージーランド債券市場は、世界的な金利低下基調やRBNZの政策据え置き姿勢を背景に、ニュージーランド債券利回りは低下（価格は上昇）基調となりました。

期初はオバマケア代替法案を巡りトランプ政権の政策実行能力に不透明感が高まり米国株が急落したことや、米軍によるシリア攻撃をきっかけとした北朝鮮を巡る地政学リスクの高まりを背景に、世界的に金利低下基調となり、ニュージーランド債券利回りは低下（価格は上昇）となりました。その後、6月末にECB（欧州中央銀行）総裁が政策転換を示唆したことをきっかけに、欧州主導で世界的に金利が上昇に転じたものの、ニュージーランドの4-6月期CPI（消費者物価指数）が市場予想を下回ったことや、8月に再び北朝鮮情勢が緊迫化し投資家のリスク回避姿勢が強まったことを背景に、ニュージーランド債券利回りは低下基調となりました。



Bloomberg NZ Bond Government 0-3 Yearの推移



## 短期NZドル債マザーファンド

為替市場では、ニュージーランドドル円相場は小幅下落となりました。資源コモディティ通貨の上昇を受けて対米ドルではニュージーランドドルは堅調に推移しましたが、米国トランプ政権の期待後退や北朝鮮情勢の緊迫化によりリスク回避の円高圧力がかかったことに加え、RBNZが相当な期間、政策を据え置くとの姿勢を維持したため、ニュージーランドドル円相場は下落となりました。

### 【ポートフォリオ】

当期の騰落率は、+0.6%となりました。

当期は、世界的な金利低下基調やRBNZの政策据え置き姿勢が続いたことから、長めのデュレーション\*を基本に運用しました。

期初は参考指数に対して中立的なデュレーションを維持する方針で臨みましたが、4月に北朝鮮情勢が緊迫化し市場のリスク回避姿勢が強まり、またフランス大統領選挙に対する警戒が高まったことから、デュレーションを1.8年程度へ引き上げました。6月末にECB総裁が政策転換を示唆し欧州主導で金利上昇となった局面では、ニュージーランドの4-6月期CPIが予想を下回ったため、長めのデュレーションを維持しました。8月に入り再び北朝鮮情勢が緊迫化したことから、デュレーションを2.0年程度へ一段と引き上げましたが、欧米市場ほど金利低下に反応しなかったため、期末に掛けては1.8年程度にデュレーションを引き下げました。

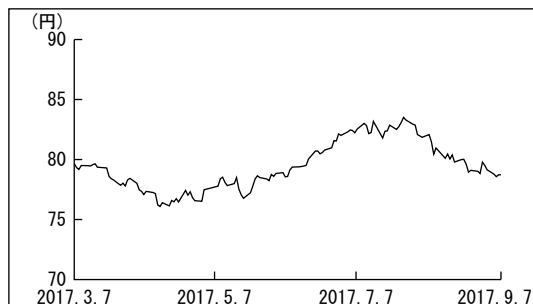
\*デュレーションとは、「投資元本の平均的な回収期間」を表す指標で、単位は「年」で表示されます。また、「金利の変動に対する債券価格の変動性」の指標としても利用され、一般的にこの値が長い（大きい）ほど、金利の変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

### 【ベンチマークとの差異】

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

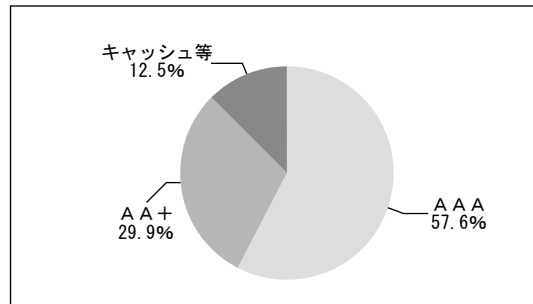
基準価額の騰落率は、参考指数であるBloomberg NZ Bond Government 0-3 Year（円換算）の騰落率+0.4%を0.2%上回りました。

為替レート（ニュージーランドドル/円）の推移



格付別資産構成

(2017年9月7日現在)



\*純資産総額に対する評価額の割合

# 短期NZドル債マザーファンド

## 今後の運用方針

今後のニュージーランド債券市場は、9月23日の総選挙やRBNZの次期総裁人事が今後の金融政策を予測する上で重要なイベントになると考えています。足元では北朝鮮情勢の緊迫化が焦点となっていますが、米国トランプ政権の政策動向やFRB（米連邦準備制度理事会）、ECBの政策スタンスに、再び市場の注目が集まると予想しています。

運用方針については、地政学リスクの影響やRBNZの政策スタンスを見極めつつ機動的にデュレーションを決定していく方針です。資産配分については、国債、地方債、国際機関債、政府機関債で構成されたポートフォリオを維持する方針です。

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2017年3月8日～2017年9月7日		
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	9円 (9)	0.089% (0.087)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
(その他)	(0)	(0.002)	
合計	9	0.089	
期中の平均基準価額は10,238円です。			

\*「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\*期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\*円未満は四捨五入しています。

## 売買及び取引の状況

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

### ■公社債

		買付額	売付額
外国	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランド・ドル 1,087
		地方債証券	千ニュージーランド・ドル 1,260
		特殊債証券	千ニュージーランド・ドル 2,544 (100)

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

\*（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれていません。

# 短期NZドル債マザーファンド

## 主要な売買銘柄

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

### ■公社債

当			期		
買	付		売	付	
銘	柄	金額	銘	柄	金額
		千円			千円
NEW ZEALAND GOVERNMENT	5.5 04/15/23	44,258	NEW ZEALAND GOVERNMENT	3 04/15/20	83,979
INT BK RECON & DEVELOP	3.5 01/22/21	40,742	EUROPEAN INVESTMENT BANK	7.5 12/15/17	80,916
NEW ZEALAND GOVERNMENT	3 04/15/20	39,953	INT BK RECON & DEVELOP	3.375 08/13/17	80,571
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	5.5 04/15/23	18,513	NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	6 12/15/17	65,922
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	6 12/15/17	16,689	NEW ZEALAND GOVERNMENT	5 03/15/19	60,344
			INTL FINANCE CORP	6.25 12/15/17	41,779
			NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	6 05/15/21	36,711
			NEW ZEALAND GOVERNMENT	6 12/15/17	33,429
			NEW ZEALAND GOVERNMENT	5.5 04/15/23	18,969

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

## 利害関係人との取引状況等

(2017年3月8日から2017年9月7日まで)

### ■利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。

## 組入資産の明細

2017年9月7日現在

### ■公社債

#### A 債券種類別開示

##### 外国（外貨建）公社債

区 分	当				期				末		
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	う ち BB格以下 組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率					
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満			
ニュージーランド	千ニュージーランド・ドル 4,400	千ニュージーランド・ドル 4,622	千円 363,917	% 87.5	% -	% 10.9	% 31.7	% 44.9			
合 計	-	-	363,917	87.5	-	10.9	31.7	44.9			

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## 短期NZドル債マザーファンド

### B 個別銘柄開示

#### 外国（外貨建）公社債

銘柄	種類	利率	額面金額	期末		償還年月日
				評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ニュージーランド・ドル・ニュージーランド)		%	千ニュージーランド・ドル	千ニュージーランド・ドル	千円	
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	6.0000	100	101	7,962	2017/12/15
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	6.0000	100	113	8,960	2021/05/15
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	5.0000	800	837	65,971	2019/03/15
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	5.5000	300	348	27,474	2023/04/15
NEW ZEALAND GOVERNMENT	国債証券	3.0000	500	513	40,407	2020/04/15
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	6.0000	400	404	31,828	2017/12/15
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	5.0000	200	208	16,402	2019/03/15
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	6.0000	200	223	17,581	2021/05/15
NZ LOCAL GOVT FUND AGENC	地方債証券	5.5000	200	225	17,743	2023/04/15
LANDWIRTSCH. RENTENBANK	特殊債券	4.0000	300	310	24,453	2020/01/30
INT BK RECON & DEVELOP	特殊債券	3.5000	500	514	40,495	2021/01/22
EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	7.5000	300	304	23,958	2017/12/15
COUNCIL OF EUROPE	特殊債券	7.5000	500	516	40,675	2018/04/30
合計	—	—	4,400	4,622	363,917	—

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

### 投資信託財産の構成

2017年9月7日現在

項目	期末	
	評価額	比率
公社債	千円 363,917	% 87.5
コール・ローン等、その他	52,022	12.5
投資信託財産総額	415,939	100.0

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 ニュージーランド・ドル=78.73円

\*当期末における外貨建資産（369,871千円）の投資信託財産総額（415,939千円）に対する比率 88.9%



## 短期N Zドル債マザーファンド

### 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2017年9月7日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	547,980,831円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	46,040,676
公 社 債(評価額)	363,917,537
未 収 入 金	132,068,839
未 収 利 息	5,660,288
前 払 費 用	293,491
(B) 負 債	132,091,386
未 払 金	132,091,386
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	415,889,445
元 本	407,936,756
次 期 繰 越 損 益 金	7,952,689
(D) 受 益 権 総 口 数	407,936,756口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	10,195円

\* 元本状況

期首元本額	746,134,513円
期中追加設定元本額	82,454,204円
期中一部解約元本額	420,651,961円

\* 元本の内訳

短期N Zドル債オープン (毎月分配型)	359,551,836円
短期N Zドル債オープン (資産成長型)	48,384,920円

### 損益の状況

自2017年3月8日  
至2017年9月7日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	14,560,421円
受 取 利 息	14,576,049
支 払 利 息	△ 15,628
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	482,294
売 買 益	42,871,113
売 買 損	△42,388,819
(C) そ の 他 費 用	△ 514,352
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	14,528,363
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	10,327,855
(F) 解 約 差 損 益 金	△19,105,803
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	2,202,274
(H) 計 (D+E+F+G)	7,952,689
次 期 繰 越 損 益 金(H)	7,952,689

\* 有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\* 解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

\* 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

### お知らせ

該当事項はございません。

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



**大和住銀投信投資顧問**

Daiwa SB Investments